

こんにちは みんなさんの 町立病院 です

平成30年・春号

この度、金岡先生の後を継ぎ久万高原町立病院の院長となりました松木克之です。私は町立病院に赴任して今年で5年目となります。その間、金岡前院長のもとで内科医として一緒に仕事をさせていただきました。ただ実のところ、今を去ること二十数年前の平成8年6月から3年の間、町立病院に勤務しており、金岡先生とはその時からのお付き合いでした。

自己紹介を兼ね当時を振り返つてみますと、今と違つて随分平和な時代であったと思います。私自身医師となつて数年しか経つてない時期で、大学病院勤務から初めて外の病院に出ることになり、赴任してきたのが久万町立病院（現久万高原町立病院）でした。当時、私は30歳手前で結婚したばかりで、妻と共に久万町にやつて参りました。

私事で恐縮ですが、新しい生活を一人で始めたのが久万町であった事は、後から思うと大変よかったです。父二峰診療所（当時は二名にも出張所がありました）での診療もしながら、町立病院で金岡前院長に色々と教えていただきながら、楽しく過ごしました。その頃は、三坂トンネルもなくコンビニもなく、正直なところ不便さを感じる事もありましたが、今よりも若く元気もありましたので、ゆつたりとした自然の中いろいろな経験をさせていただきました。毎年行

松木院長就任あいさつ

われてお
ります久
万高原マ
ラソンも、
確か私が

いる時に始まつたものだと思います。

その第1回大会から、当時マラソンが趣味であった上司の伊藤先生と共に一生懸命走りました。また、夏の御用木祭りでも丸太を2回ほどかつかせていましたが、非常に苦しかった事を覚えています。3年目に入り長女が生まれ、あつという間に時が経ち、色々な思い出を後に、私は新居浜へと異動になった次第です。

4年前、金岡先生からの要望もあり、再び町立病院に戻つて参りましたが、昔を知る者としては時代が変わったのだという事を日々実感する毎日です。

地域医療の最前線とも言える当病院においても、今後も町民の方の健康や福祉を守つていく事は非常に重要な課題となつてきます。そのためには、われわれ医療従事者はもちろん、まわりの方達とも連携・協力しあう形を、もっといえば町民の皆様全員がお互い協力し、あえる形を作つていくのが理想であり、必要な事だと思います。私自身もより一層努力して参りますので、皆様お一人お一人のご協力も、どうかよろしくお願い申し上げます。

